

## 2010年度の目標

	2012年（中期）目標	2010年目標
二酸化炭素排出量	2005年度比15%削減	2005年度比12%削減
水使用量	2005年度比35%削減	2005年度比31%削減 (前年維持)
一般廃棄物排出量	2006年度比35%削減	2006年度比32%削減 (前年維持)
環境PR活動	環境優良商品・環境配慮型商品の売上構成比率1%以上	環境優良商品を紹介する展示会・セミナー講習会の継続実施 エコキュートの拡販100台

## 総括

一昨年に起こったリーマンショック以降、世界的な景気低迷の中、我が社を取り巻く経済環境も2009年は大変厳しい1年となりました。売り上げが4割近く減少という中で環境幸動は直接コスト削減運動にもつながるため社員一人一人へのさらなる意識付けをお願いし、より一層効果が出るような取り組みを致しました。

その結果、CO<sub>2</sub>削減では年々着実に削減効果が現れてきております。しかしながら、指標の一部においては十分な成果が出ていないところもあり、原因の洗い出しと今後の対策をしっかりと検討することで、社内の環境幸動を高めていきたいと考えております。

また、営業における環境幸動、環境教育幸動については展示会やセミナーの開催とすることだけでなく、より広く当社のE A 2 1の取り組みを知っていただくことで、地域産業における環境幸動の広がりを持たせることが大切であると考えられます。

最後に弊社はこれからも「まちづくり・ものづくりの応援」というスタンスを变えることなく、エコアクション21の取り組みを通して責任ある幸動（法令遵守）をし、地球と地域に優しい企業であることをお誓い申し上げまして総括と致します。

平成22年4月



吉岡幸株式会社  
代表取締役社長 吉岡正盛

